

【重点目標1 重点取組評価シート】

基本方針	専門的な資料・情報や地域資料等を収集、蓄積し、県民・企業の調査研究に対する支援機能を充実する。				
重点目標1	資料・情報提供機能の強化による全県サービスの推進				
重点取組	多様な情報要求に対応し県民・企業の課題解決を支援する資料・情報提供の推進				
1 総合評価	R1年度	4	5:目標を上回っている 4:目標に達している 3:目標の8割以上達している 2:目標には達していないが、一定の進捗が見られる 1:目標達成に向けた進捗が見られない	※数値の達成だけでなく総合的な評価とする	
	R2年度				
	R3年度				
2 評価理由	県民・企業の多様な情報要求に対応し課題解決を支援する有用なレファレンスサービスを実施し、全県サービスを推進した。 6指標のうち3指標について目標値を達成したこと、残る3指標について目標値は達成できなかったが、いずれの実績値も8割以上、レファレンス満足度は9割以上となったことから、評価を「4」とした。				
3 数値目標及び達成状況					
投入指標	パスファインダー等の発行数*1	目標値	R1年度	R2年度	R3年度
		実績値	20点	20点	20点
		達成率	165%		
	国立国会図書館レファレンス協同データベース事例公開件数	目標値	230件	230件	230件
		実績値	200件		
		達成率	87%		
活動指標	レファレンス件数(事項調査)	目標値	5,300件	5,300件	5,300件
		実績値	6,595件		
		達成率	124%		
	レファレンス掲示板件数(協力レファレンス)*2	目標値	60件	60件	60件
		実績値	52件		
		達成率	87%		
満足度	レファレンス満足度*3	目標値	4.4以上	4.4以上	4.4以上
		実績値	4.3		
		達成率	未達成		
	協力レファレンス満足度*4	目標値	4.8以上	4.8以上	4.8以上
		実績値	4.9		
		達成率	達成		
<p>*1 パスファインダー:あるテーマについて調べる時に役立つ基本資料や調べ方を紹介する道しるべとなる資料 *2 レファレンス掲示板:県内市町村立図書館から県立図書館にレファレンス依頼をするためのインターネット上の掲示板 *3 レファレンス満足度:5段階評価(利用者アンケートより算出) *4 協力レファレンス満足度:5段階評価(市町村立図書館へのアンケートより算出)</p>					
4 行動計画及び取組状況					
	取組内容	行動計画(主な取組)			
1-1	各分野におけるレファレンスサービスの推進	担当する各分野のレファレンス事例紹介、調べ方案内の発行、調査研究に役立つリンク集等を充実するとともに、国立国会図書館レファレンス協同データベースの「調べ方マニュアル」への事例提供を継続する。レファレンスサービスの認知度の向上、職員の技術向上により、レファレンスサービスを推進する。			投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイト「調査研究に役立つリンク集」更新(6月)、「埼玉の図書館類縁機関案内」更新(12月) 国立国会図書館レファレンス協同データベース「調べ方マニュアル」への事例提供(4件) 職員向け「レファレンスインタビューのポイント(心がけ)」作成(9月) 			
1-2	県内行政機関や外部機関・団体等との連携事業の拡充	県の各課所館・団体等と連携し、県民向けに周知を図る事項について、課所館等が製作する広報物と図書館資料とを組み合わせた連携展示を協力して実施する。合わせて資料リスト等を作成する。			投入指標
	実施状況	・博物館、教育センター、埋蔵文化財調査事業団ほか、県内病院等と連携、資料リスト作成			

1-3	一人一人のチャレンジ支援につながるビジネス関連情報提供の推進	ビジネス関連の講座・講演会・資料展等を開催するとともに、『仕事に役立つリサーチガイド@埼玉』の改訂に取り組む。また、関係機関と連携し、一人一人の状況に応じた資料・情報提供を行う。	投入指標
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス支援講座「中小企業のSDGs経営入門！」(2月14日、34人、満足度=4.7) ・女性創業相談会(原則毎月第1木曜実施 計11回 延べ38人、満足度=4.8) 	
1-4	県民に向けた海外資料サービスの広報及び関連事業の開催	国際理解や多文化共生への理解を深めるため、関連事業を開催するとともに、国際課や国際交流協会等関連機関と連携し、利用案内、ウェブサイト、資料展示等により海外資料サービスを広報する。	投入指標
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・講座「Moi Suomi! 幸福の国フィンランドを知ろう」(1月19日、4講座計164人、満足度=4.7) 	
1-5	県民のヘルスリテラシー向上に役立つ健康・医療情報提供の推進	健康・医療情報関連の講座・講演会、資料展・パネル展示等を開催するとともに、『健康・医療情報リサーチガイド@埼玉』の改訂・配布を行う。	投入指標
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会「がんのイロハ」(9月7日、112人、満足度=4.5) ・同資料展示(8月27日～9月29日) ・バスファインダー「子どもにがんを伝える」等発行 	
1-6	レファレンス事例データの一般公開の推進	レファレンス事例データを適正に入力・管理し、国立国会図書館「レファレンス協同データベース」へ計画的な提供を行う。	投入指標
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館受付事例について、2館で分担して新規入力し、担当職員による校正を経て国立国会図書館レファレンス協同データベースに一般公開(累計=8,737件) 	
1-7	県内市町村立図書館等を対象とした協力レファレンスサービスの利用促進	県内市町村立図書館、図書館類縁機関、大学に対して、レファレンスサービスを支援する「図書館協力レファレンス掲示板」などの活用を促すとともに、受付・回答を迅速に処理する。	投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス掲示板について、集会等の機会をとらえ、広報を実施(9回) 	
1-8	非来館型レファレンスサービスの推進	ウェブサイトからのレファレンス受付等、非来館型レファレンスを推進するとともに、2館が一体となり迅速に調査・回答を処理する。	活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト受付フォームからのレファレンス申込に対し、迅速に受付(112件)・回答 	
1-9	行政支援サービスの環境整備と推進	熊谷図書館の行政支援サービス環境を整備し、浦和分室を通じたサービスを推進する。	その他
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内LANに「熊谷図書館」のページを開設、随時サービス案内を実施 	
5 取組による成果	<p>(1) 職員向け「レファレンスインタビューのポイント(心がけ)」を作成し、普段のレファレンスサービスと国立国会図書館レファレンス協同データベース事例作成・公開などが円滑になされるよう活用をはかった。</p> <p>(2) 国立国会図書館レファレンス協同データベース事例公開件数については、役立つ事例提供を継続し、被参照件数が12年連続で全国一(2,751,081件)となり、国会図書館から礼状を得た。</p> <p>(3) レファレンス掲示板件数(協力レファレンス)については、87%の実績値に留まったが、県内職員向け研修会等で、レファレンス掲示板の有用性やレファレンスツールの紹介に努め、県全体での底上げをはかった。</p>		
6 課題及び次年度取組	<p>[課題]</p> <p>(1) 国立国会図書館レファレンス協同データベース事例公開件数については、専門的なレファレンスの回答レベルを維持していくことが課題となっている中、質の高い内容を維持するためにチェックに時間がかかり、公開件数が目標値に至らなかった。入力の完成度を上げる職員の技術向上により国立国会図書館レファレンス協同データベース事例公開件数入力の効率化をはかる。</p> <p>(2) レファレンス掲示板件数(協力レファレンス)については、引き続き、機会をとらえた広報に努める。</p> <p>[次年度取組予定]</p> <p>(1) レファレンス広報(県内公立図書館職員向け・一般利用者向け)の継続並びに(高校図書館職員向け)の新規計画</p> <p>(2) 日常のカウンター内でのレファレンスサポートと若手職員のオン・ザ・ジョブ・トレーニングの強化</p> <p>(3) 「仕事に役立つリサーチガイド@埼玉」の改訂に向けた内容の検討</p> <p>(4) 「健康・医療情報リサーチガイド@埼玉」の改訂版の作成</p> <p>(5) 埼玉県よるず支援拠点と連携したセミナー・講演会の実施(新規)</p> <p>(6) 新型コロナウイルスの影響に対応した事業の展開計画</p>		